

発行 伊藤ひであき事務所 豊橋市東田町西前山144-14 TEL 0532(53)3483 FAX (53)3809
EMAIL : hide@apli.co.jp インターネットホームページ <http://www.itouhideaki.com/>

ドクターヘリが3歳の子どもを救った！

国民の生命と健康を守ることこそ政治の最大の使命です。公明党は、昨年夏の参議院選挙において「命のマニフェスト」を皆様にお約束し、その中で「ドクターヘリの全国配備」を訴えてまいりました。

そして先の通常国会で、「ドクターヘリ法」が成立しました。ドクターヘリは「空飛ぶ救命室」とも呼ばれ、医師や看護師が搭乗して事故現場などに駆け付け、即座に治療に当たる救急システムのことです。半径50キロ圏内なら15分以内で現場に到着し、すぐにその場で救急医療が行えるため、救命率を大幅に高めることができ、人命の救助に大きく貢献することができます。

救急隊とドクターヘリの迅速な連携

皆さん、ご案内のとおり1月22日から23日にかけて、大変に嬉しいニュースが、テレビや新聞で流れています。このドクターヘリが愛知県に住む3歳の男の子の命を救ったのです。「池に転落 心配停止 ドクターヘリ救った」と夕方のニュースでも全国に報道されました。事の顛末は以下です。

お正月の1月2日、お母さんの実家である愛知県の山奥に遊びに来ていた光（ひかる）ちゃん、3歳は、誤って、ため池に転落しました。一生懸命に探していたお父さんは、池に浮いていた光ちゃんのブーツを発見。飛び込んで引き上げた光ちゃんは、ほとんど溺死状態でした。

すぐさま、救急連絡。救急車が到着するまで一生懸命に人工呼吸したお父さん。救急隊は直ちにドクターヘリを要請しました。

浜松の病院のドクターヘリが到着したのは、光ちゃんが救出されてから30分後の午前10時34分、光ちゃんは医療設備を備えたドクターヘリの中で治療を受け、そして午前11時46分、24時間体制の小児集中治療室のある静岡市の静岡県立子ども病院に搬送されました。

心肺停止状態が10分以上続いたのにもかかわらず、

なぜ、光ちゃんはここまで回復できたのか。氷の張る池に落ちた光ちゃんの体温は一時的に28度に低下。これが脳組織の活動レベルを下げ、酸素不足に耐えられたとみられています。4日後に意識を取り戻し、その2日後には後遺症もなく会話ができるまで回復。

そして、1月22日、元気に退院しました。

ドクターヘリを始め安心できる医療体制を

光ちゃんを担当した植田医師は「迅速に救命のリレーができたことと、体温が低かったことと、それと、設備が整った専門施設でしっかり治療できたこと、それで救命できました」と語っています。

何よりも、救急隊とドクターヘリの迅速な連携が、3歳の光ちゃんを救ったのです。お父さんも「お蔭様で、光は元の体に戻れて、今も元気に遊んでいます。本当にありがとうございます」と話していたのが印象的でした。

私たち公明党は、ひとりでも多くのかけがえのない命が救えるよう、この嬉しいニュースを大きな喜びとして、なお一層、ドクターヘリの導入を推進し、救命救急医療、医師不足問題などに全力で取り組んでまいります。

<<参考>>

助かった玉越光（たまこしひかる）ちゃんは愛知県田原市に住んでいます。田原市は豊橋市の隣り、椰子の実が流れてきた渥美半島の付け根にあります。

事故がおきた愛知県設楽町（旧津具村）は愛知県東北部の山の中、そこから車で1時間で長野県飯田市、岐阜県恵那市。

現場から運ばれた静岡市の静岡県立子ども病院（静岡市葵区）までは直線で90キロ、ヘリコプターのある浜松市の三方原聖隷病院からは現場まで直線で40キロ。

(END)